

2022年2月 熊本赤十字病院臨床治験審査委員会

【会議の記録の概要】

開催日時 開催場所 出席委員名 欠席委員名	2022年2月1日 熊本赤十字病院 文書審査 荒金 太、加島 雅之、大戸 雅史、伴 英樹、陣上 祥子、竹下 美子、井上 亜紀、松本 典子、 松本 直幸
議題及び審議 結果を含む主 な議論の概要	<p>議題1. アツヴィ合同会社の依頼による巨細胞性動脈炎患者を対象としたウパダシチニブの安全性及び有効性を検討する第Ⅲ相臨床試験: SELECT-GCA (整理番号:201901-1) ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果:承認</p> <p>議題2. バイエル薬品株式会社の依頼による急性非心原性虚血性脳卒中発症後の患者を対象にBAY 243334の有効性及び安全性を検討する多施設共同、無作為化、プラセボ対照、二重盲検、並行群間比較、用量設定第Ⅱ相試験 (整理番号:202003-1) ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果:承認</p> <p>議題3. (治験国内管理人)IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたetrasimodの第3相無作為化、二重盲検試験 (整理番号:202007-1) ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果:承認</p> <p>議題4. (治験国内管理人)IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたetrasimodの第3相非盲検試験 (整理番号:202009-1) ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果:承認</p> <p>議題5. (治験国内管理人)IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたetrasimodの第3相二重盲検試験 (整理番号:202009-2) ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果:承認</p> <p>議題6. (治験国内管理人)IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたetrasimodの第2相無作為化、二重盲検試験 (整理番号:202107-2) ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果:承認</p> <p>議題7. ヤンセンファーマ株式会社の依頼による中等症から重症の活動期のクローン病患者を対象とするゲセルクマブの安全性及び有効性評価を目的とした第3相、非盲検、多施設共同試験 (整理番号:202007-2) ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果:承認</p>

議題8. 一般社団法人 日本血液製剤機構の依頼による腎移植後の抗体関連型拒絶反応に対するGB-0998の有効性、安全性を検討する多施設共同オープン試験

(整理番号:202010-1)

- ・当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- 審査結果:承認

議題9. バイエル薬品株式会社の依頼による症候性子宮内膜症患者を対象としたP2X3拮抗薬(BAY 1817080)3用量の有効性と安全性を、プラセボ及びelagolix 150 mg投与と比較して評価する無作為化、二重盲検、プラセボ対照及び非盲検、実薬対照、並行群間、多施設共同、第IIb相試験

(整理番号:202102-1)

- ・治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。
 - ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 - ・治験薬概要書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 - ・治験分担医師の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- 審査結果:承認

・荒金 太委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題10. 武田薬品工業株式会社の依頼による小児活動期潰瘍性大腸炎患者を対象としたMLN0002の第3相試験

(整理番号:202105-2)

- ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 - ・治験実施計画書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 - ・同意・説明文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 - ・被験者の募集の手順に関する資料の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- 審査結果:承認

議題11. 武田薬品工業株式会社の依頼による小児活動期クローン病患者を対象としたMLN0002の第3相試験

(整理番号:202105-3)

- ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 - ・治験実施計画書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 - ・同意・説明文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 - ・被験者の募集の手順に関する資料の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- 審査結果:承認

議題12. バイエル薬品株式会社の依頼による非糖尿病性慢性腎臓病患者における腎疾患の進行に関して、標準治療に上乗せしたfinerenoneの有効性及び安全性を検討する多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較、第III相試験

(整理番号:202110-1)

- ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- 審査結果:承認

議題13. (治験国内管理人)ラボコープ・ディベロップメント・ジャパン株式会社の依頼による急性心筋梗塞患者の心不全による入院及び死亡に対するエンバグリフロジンの効果を評価する効率化、多施設共同、ランダム化、並行群間、二重盲検、プラセボ対照、優越性試験

(整理番号:202111-1)

- ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 - ・同意・説明文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- 審査結果:承認

特記事項

新型コロナウイルス(COVID-19)の影響により、本審査については「新型コロナウイルス感染症の影響下での臨床治験審査委員会の実施について(2020.5.1)」に従い文書審査を行った